

ことばの学び

—絵本の読み聞かせを通して—

LET春季研究大会ワークショップ

2025年5月24日(土)

流通科学大学

LET早期英語教育研究部会

斉藤倫子(関西学院大学他 非常勤)



本発表の流れ

1. はじめに（斉藤倫子）
2. 脳科学研究から見えること（井狩幸男）
3. 早期英語教育研究部会プロジェクトについて（星原光江）
4. 実験の結果と分析（竹田里香）
5. 考察とまとめ（鳥羽素子）
6. Workshop
（早期英語教育研究部会より：泉恵美子、板垣静香、檜本洋子、清水香苗、松延亜紀）



はじめに

これまでの早期英語教育研究部会の活動

2020年度プロジェクト (第1期)

2021.6	【シンポジウム】 インプットとアウトプットの関係の再構築 — 自然な英語の定着に向けて— (竹田、石田、杉本、井狩)
2021.8	【シンポジウム】 アウトプットに着目した学習者の発話分析 — 入学期と中学年におけるInformation Gap Activityの実践を通して— (眞崎、佐藤、星原、松延、井狩、泉)
2021.12	【シンポジウム】 ライティングにおけるアウトプットの重要性 (辻、樫本、斉藤、井狩)
2022	【関西支部研究集録】 インプット処理過程における予測と同期の役割について — 自然な英語の定着に向けて — (井狩、竹田、杉本、石田)
2023	【関西支部研究集録】 アウトプットに着目した学習者の発話分析 — 入学期と中学年におけるInformation Gap Activityの実践を通して— (眞崎、佐藤、星原、松延、井狩、泉)

はじめに

2024年度プロジェクト (第2期)

絵本の読み聞かせを通じたアウトプットの役割
実際に英語の読み聞かせを行ってもらい、読み聞かせ中の
先生と生徒のやり取りを分析



はじめに

小学校英語教育では、異文化理解や国際的なコミュニケーション能力を育むという目的のもと、コミュニケーションの**目的、場面、状況に合わせた言語活動**が求められている。このような学習環境を提供する手段として、絵本の読み聞かせが注目されている。

絵本は、視覚的な要素とともに物語を伝えるため、言語習得において非常に効果的なツールである。

- 親子の信頼関係の形成
- 子どもの情緒面での安定
- 言語やリテラシーの発達
- 物語の内容を理解しようとする認知的な側面

絵本のストーリーを通じて、意味を類推しながら聞く力が育ち、語彙、表現、用法などを自然に学ぶことができる。

Benefits of Shared Reading

becomes stronger through a dialogic reading approach

Shared-book reading is an essential aspect of responsible parenting

- Language skills (labeling) through Joint attention
- Learning how to use language in socially appropriate ways
Bruner (1983)
- Cognitive, emotional, and motivational benefits
- Language and literacy skills
- A novel focus (joint attention), interest in reading, etc.
McBride-Chang (2012)

絵本を扱う利点

- 意味理解を促す視覚的手掛かりと豊富な文脈により自然な意味交渉が可能
- 読み聞かせるだけでは効果は薄く, 子どもに合わせて相互交渉を織り込むことで, より言語習得が促進されると考えられる。
 - ➡読み聞かせの回数を重ねるにしたがって, 発話量が増加
 - ➡教師は子供の力の伸びを見極めながら, 子供の発話を引き出す談話手法を用いている。

萬谷 (2009)

- 読み手の技量により, 子どもの言葉の発達に差がある

松本 (2015)

談話手法

Bruner (1983)

2歳児と母親との絵本の読み聞かせでのやりとり

- Attentional Vocative (注意喚起的呼びかけ): “Look!”
- Query (質問): “What are those?”
- Label (ラベリング): “They are rabbits.”
- Feedback (フィードバック): “Yes, rabbits.”



教師の発話カテゴリー (萬谷 2009)

カテゴリー	定義	例
Yes-No Q E	英語によるYes-No question	T: Is he under the bed?
Yes-No Q J	日本語によるYes-No question	T: スポットは、ピアノの中にいるかなあ?
Wh-Q E	英語によるWh-疑問文	T: What is in the closet? C: Monkey!
Wh-Q J	日本語によるWh-疑問文	T: たんすの中には何がいるのかな?
Repeat Prompt	重要な単語をリピートさせる	T: Bear. C: Bear.
Completion Prompt	文の途中まで言い、子供にその後を言わせる (抑揚は上昇調)	T: Is he in the wardrobe? (たんすの扉をめくりながら) I am a ... C: Monkey!
Acceptance	子供の返答を受け入れる言語反応	T: That's right.
Negation	子供の返答の誤りに対する言語反応	T: No, no.
Doubt	子供の発言の真偽を疑う発話	Really?
Recast	子供の返答をそれとなく正しい英語で言い換える (意味が正しければ受入れる。)	T: (時計の中の動物をちらりと見せる) C: Snake! Snake! T: It's a snake!
Answer Confirmation	子供の正しい返答を繰り返し、確認する	T: Oh, is he inside the clock? I am a ... S: Snake, T: Snake. Very good.
Answer Provision	児童の発話 (英語, 日本語) が誤っている場合に、正解を示し、明示的に訂正する。	T: (絵を指差し, 名前を問う) C: ペロペロキャンディー! T: Lollipop. Lollipop. You say lollipop.
Alternative Clues	答えの選択肢を示し、子供に答えさせる	T: Where is the snake? C: Clock. T: (手を上に) On the clock? Or (手を下に) under the clock? T: Or (扉を開くジェスチャーをしながら) inside the clock? C: Inside the clock.

教師の発話カテゴリー

1) アウトプット誘因系:

Wh疑問文, Yes-No疑問文, Completion Prompt
(子供に考えさせ発言させるための発問)

2) インプット系:

Recast, Repeat prompt, Answer Confirmation,
Answer Provision
(正しい表現を印象づける談話手法)

3) 発話意欲促進系:

Acceptance, Doubt
(発話促進のための情緒的談話手法)



教師の発話カテゴリー： 萬谷(2009)より改編

	カテゴリー	定義	例
アウトプット誘因系	Yes-No Q E	英語によるYes-No question	T: Is he under the bed?
	Yes-No Q J	日本語によるYes-No question	T: スポットは、ピアノの中にいるかなあ?
	Wh-Q E	英語によるWh-疑問文	T: What is in the closet? C: Monkey!
	Wh-Q J	日本語によるWh-疑問文	T: たんすの中には何がいるのかな?
	Completion Prompt	文の途中まで言い、子供にその後を言わせる(抑揚は上昇調)	T: Is he in the wardrobe? (たんすの扉をめくりながら) I am a ... C: Monkey!
	Alternative Clues	答えの選択肢を示し、子供に答えさせる	T: Where is the snake? C: Clock. T: (手を上に) On the clock? Or (手を下に) under the clock? T: Or (扉を開くジェスチャーをしながら) inside the clock? C: Inside the clock.
インプット系	Repeat Prompt	重要な単語をリピートさせる	T: Bear. C: Bear.
	Recast	子供の返答をそれとなく正しい英語で言い換える(意味が正しければ受入れる。)	T: (時計の中の動物をちらりと見せる) C: Snake! Snake! T: It's a snake!
	Answer Confirmation	子供の正しい返答を繰り返し、確認する	T: Oh, is he inside the clock? I am a ... S: Snake, T: Snake. Very good.
	Answer Provision	児童の発話(英語, 日本語)が誤っている場合に, 正解を示し, 明示的に訂正する。	T: (絵を指差し, 名前を問う) C: ペロペロキャンディー! T: Lollipop. Lollipop. You say lollipop.
発話意欲促進系	Acceptance	子供の返答を受け入れる言語反応	T: That's right.
	Doubt	子供の発言の真偽を疑う発話	T: Really?
	Praise	子供の返答の対する賞賛	T: Great./Good job. 追加



ことばの学び—絵本の読み聞かせを通して— 脳科学研究の知見を踏まえて

井狩幸男

大阪公立大学

ikariyukio@yahoo.co.jp



読み聞かせにおけるインプット処理

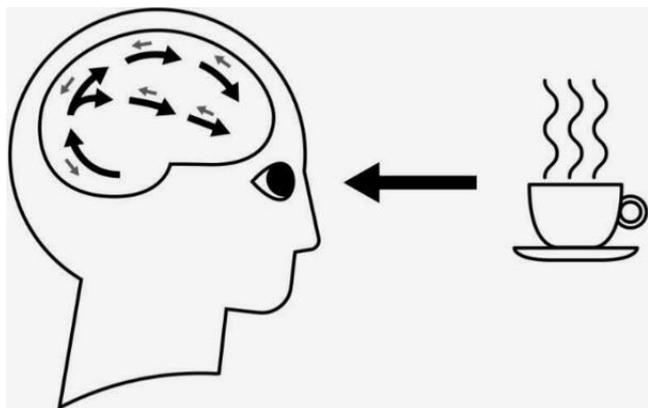
OSAKA CITY UNIVERSITY

従来の見解

情報 → 脳内処理

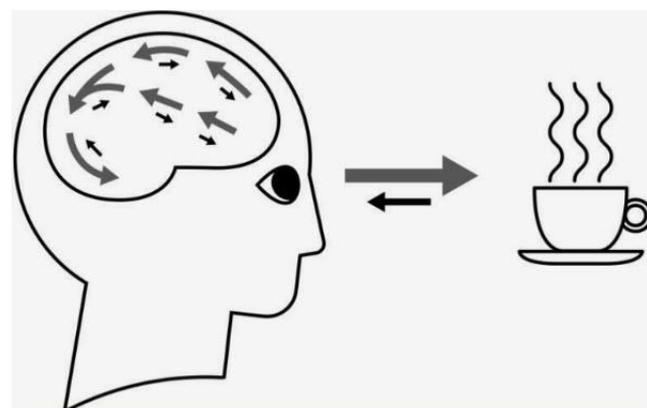
新たな知見

情報 ⇔ 脳内処理



ボトムアップ

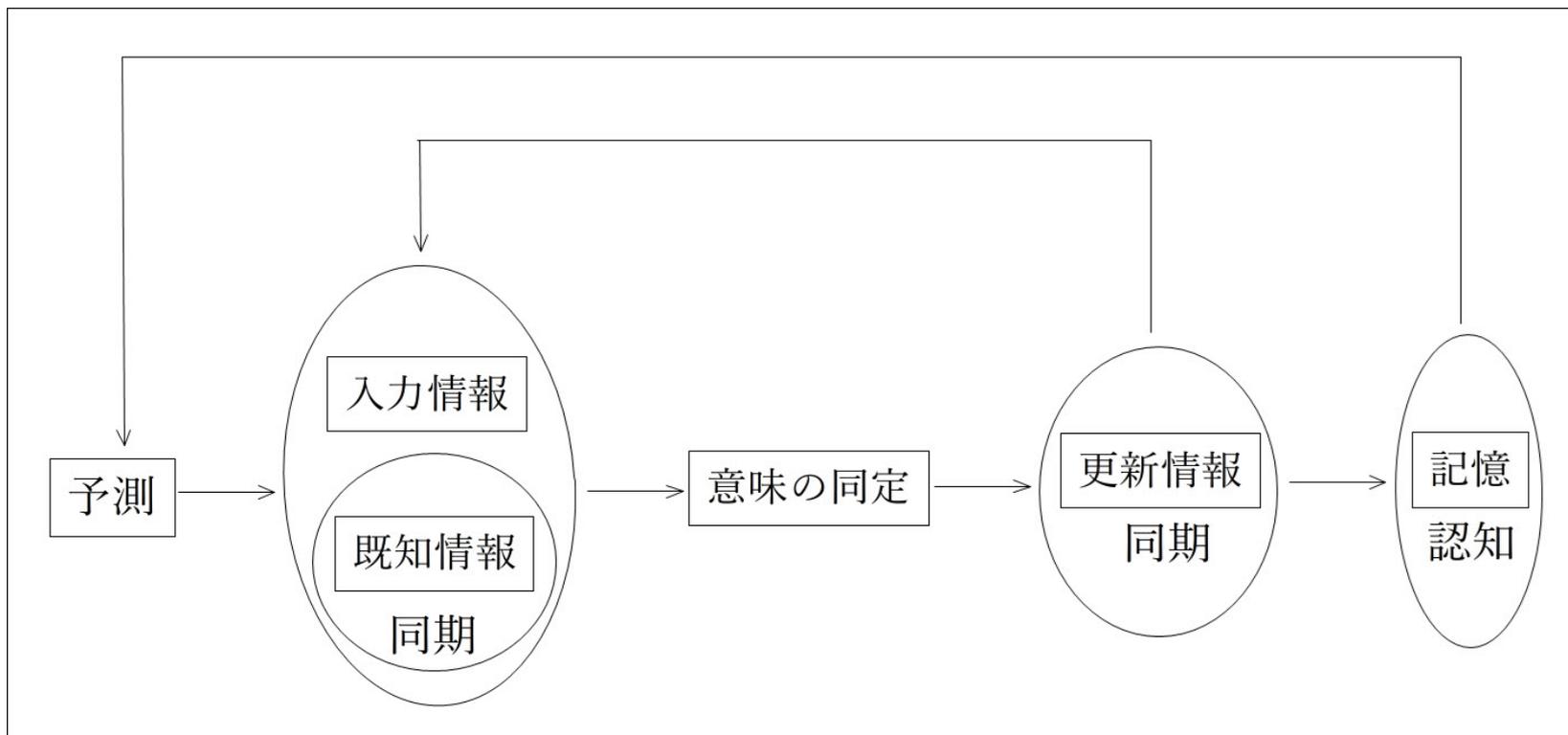
特徴抽出としての知覚



トップダウン

推定としての知覚

入力情報の脳内処理モデル



(井狩, 2022)



脳科学から見た読み聞かせ

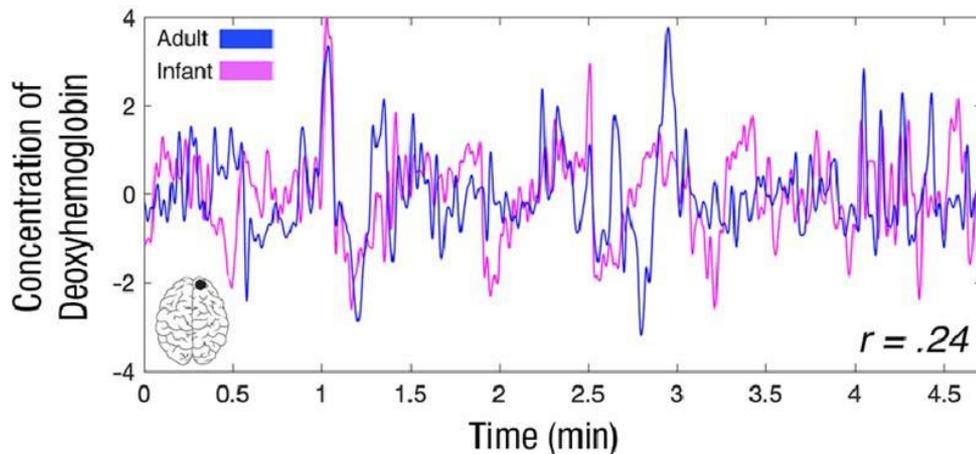
OSAKA CITY UNIVERSITY

脳科学の観点から読み聞かせの活動についてみてみると、単に脳内で音声情報と視覚情報を処理するのではなく、同期に基づき、記憶情報を活性化させ、予測しながら積極的に言語活動に参加している。

a



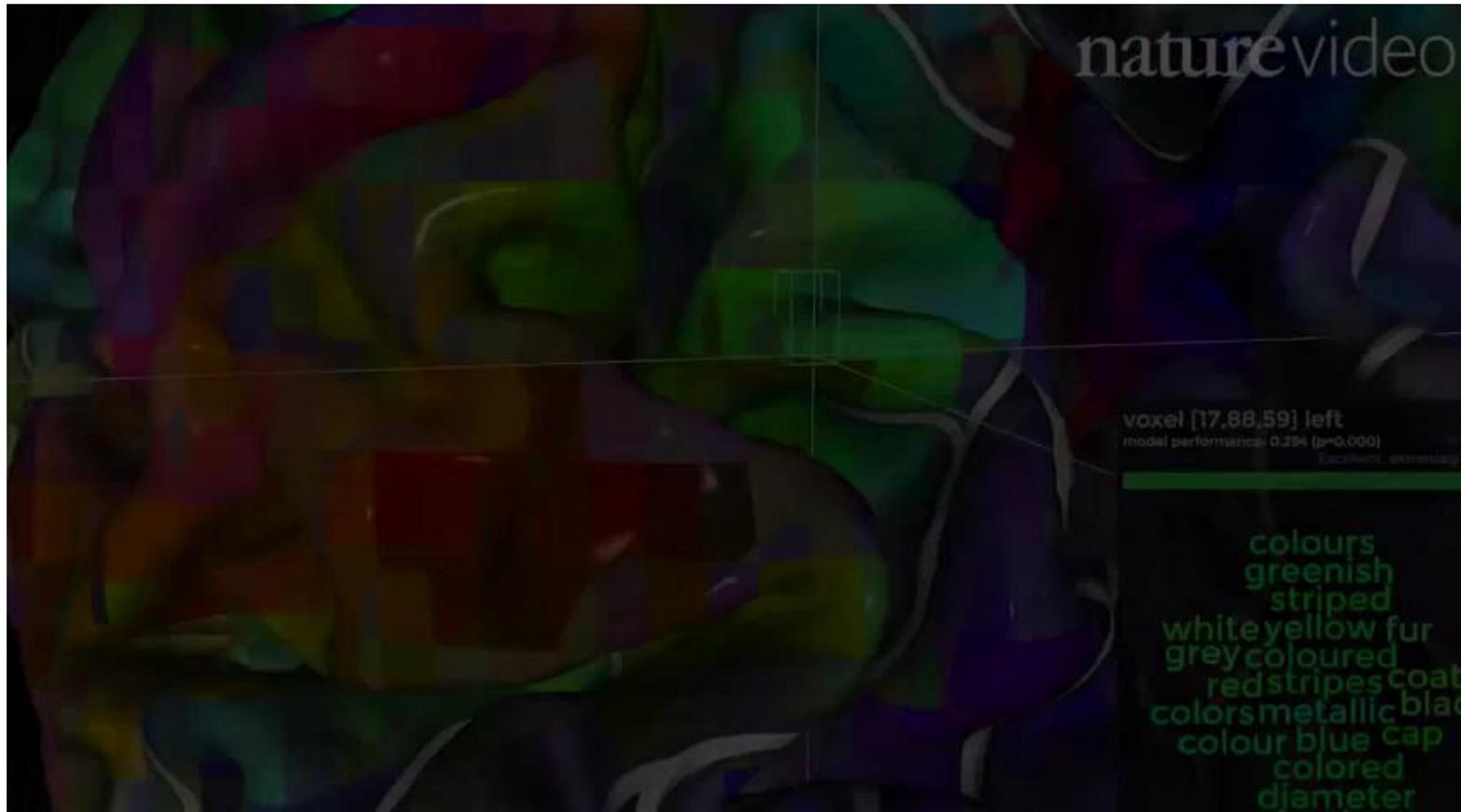
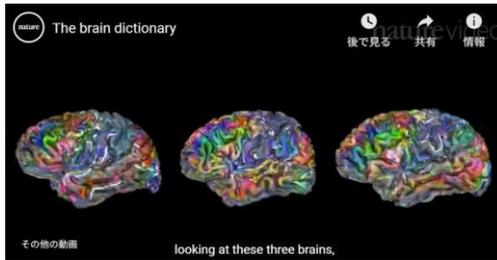
b



(Piazza et al.,
2020)

「見つめ合う2人の脳は同期している」ことが既に分かっている。最近、「一緒に遊んでいる赤ちゃんと大人の脳も同期している」ことが、新たに判明した。

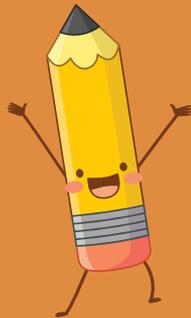
脳から見た個人差



メディア教育学会（LET）関西早期英語教育研究部会

早期英語教育研究部会プロジェクト （第二期）

- ・ 井狩幸男・ 泉恵美子・ 齊藤倫子・ 竹田里香
- ・ 鳥羽素子・ 櫻本洋子・ 石川雅子・ 星原 光江



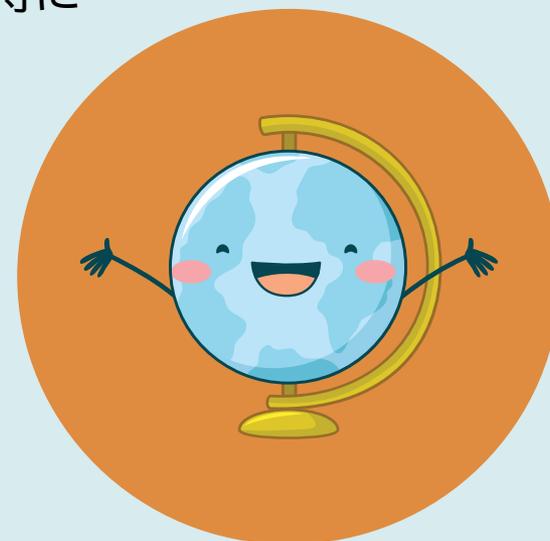
「絵本の読み聞かせ」の際に、読み手と聞き手の間にインタラクション(やり取り)があることで、幼児のことばの習得にどのような効果があるのか？

Research Question

絵本の読み聞かせにおける

インタラクションが

子どもの英語習得にプラスの影響を与えるのではないか。





Early English Education Study Group Project

- 実施方法:

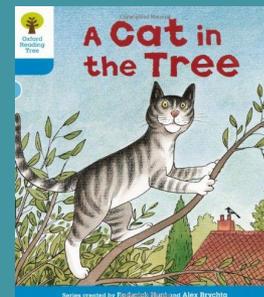
- 実施日:

- 第1回目: 2024年1月 中旬

- 第2回目: 2024年2月下旬～3月上旬

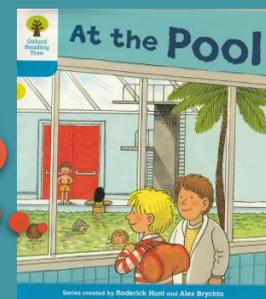
- 同日に2冊の「絵本読み聞かせ」を実施
- やり取りに使用する**質問を指定**
- 教材: ORT 絵本 同レベルの2冊
- 録画・振り返り記録によるデータ収集

インタラクション
なし



(Stage 3 : 79 words)

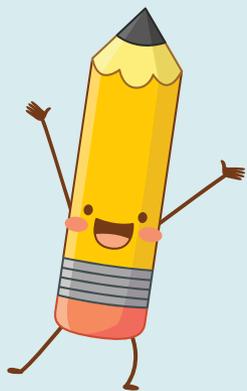
インタラクション
あり



(Stage 3 : 84 words)

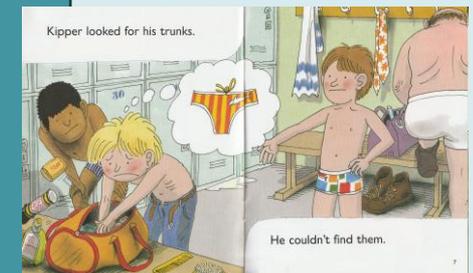
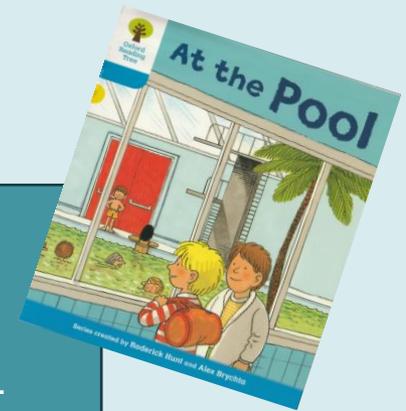


		Ss' Grade	Learning Experience
G1	T先生 年中・年長クラス	年中	9-10ヶ月
		年長	9-10ヶ月
		年長	2年 9-10ヶ月
G2	S先生 1・2年生クラス	小1	年長から学習開始。学習歴は1年半
		小2	から学習開始。学習歴は半年。
		小1	年長から学習開始。学習歴は1年半
G3	S先生 4年生クラス	小4	5年6ヶ月
		小4	5年6ヶ月
G4	Y先生 小1・小2クラス	小1	1年半
		小2	半年
		小1	1年半
G5	Y先生 小4クラス	小4	6年
		小4	6年
		小4	8年



At the Pool:

- プールに到着したKipper、水着が見つからない
- Wilma のお母さんが、Kipperを連れて水着の買いに
- 買った水着に着替えようとして… Kipperが驚く
- 探していた水着を既に着用していた!



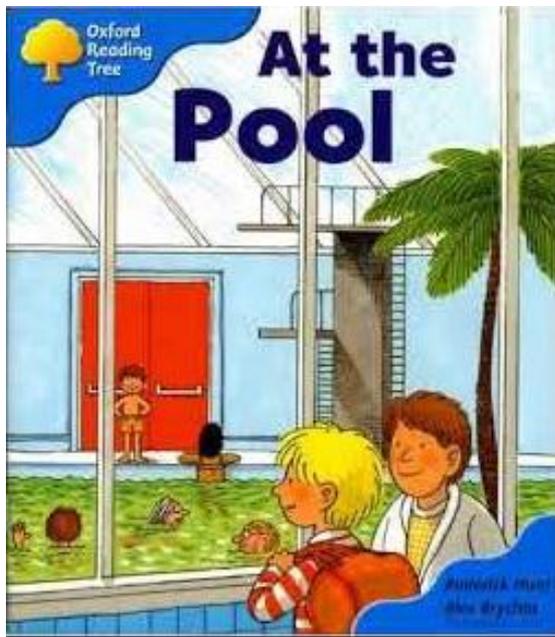
	Story	Teacher's interaction
表紙		<ol style="list-style-type: none"> 1. They are Kipper and Chip. Chip is Kipper's big brother. 2. Where are they? (Swimming pool) 3. What do you bring when you go to a swimming pool? 4. What is in Kipper's bag? (towel, goggles, swimsuit, cap, float . . .)
P1	Kipper went to the swimming pool.	
P2	Wilma's mum took him.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Who is this?
P3	She took Biff and Chip, too.	<ol style="list-style-type: none"> 1. They are Wilma, Wilf, Biff, Chip. This is Wilma's mum. 2. Wilma and Wilf are sister and brother. Chip and Biff are twin sister and brother. Kipper is their younger brother.
P4	It was a new pool.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Is this swimming pool new or old? 2. Why do you think so?
P5	Everyone wanted to swim.	
P6	Kipper looked for his trunks.	<ol style="list-style-type: none"> 1. What's Kipper doing? What happened?
P7	He couldn't find them.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Did he find his trunks?
P8	<p>Kipper couldn't go in the pool.</p> <p>Sorry No shorts</p>	<ol style="list-style-type: none"> 12. Why?

結果・考察とまとめ

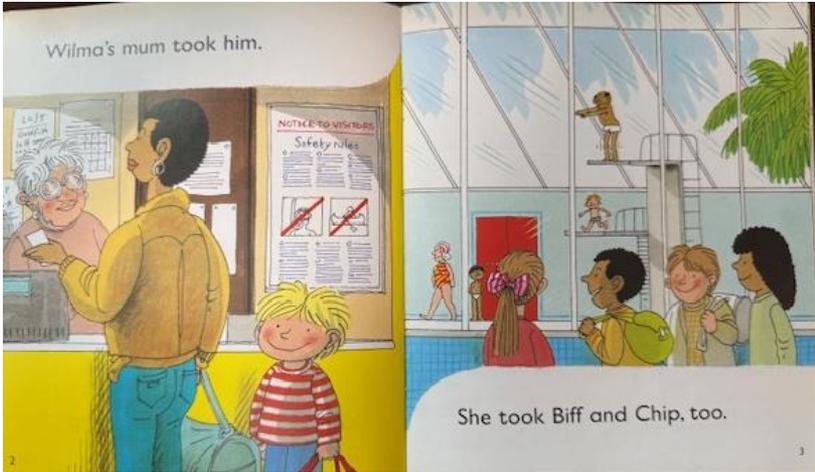
竹田 里香（立命館大学）

鳥羽 素子（岡山県立大学）

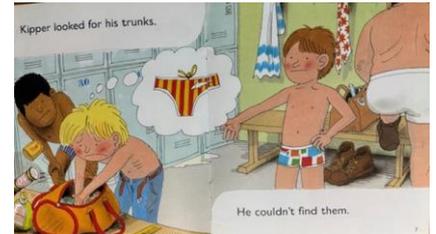
At the pool (Oxford reading tree, Stage 3)



Wilma's mum took the kids to a new pool. But only Kipper didn't show up at the poolside. What happened?



結果 Excerpt 1—G1 【年中・年長1回目】



Transcription

T: What's Kipper doing? What happened?
S1: パンツ やぶれてる、ってこと？
S2: パンツがやぶれちゃってる
T: Kipper looked for trunks!
S3: パンツがない
S1: 男の子は水着がズボンやから、ズボンが破れてるってこと？
T: Yeah, (笑) Kipper looked for his trunks. Did he find?
S1: 水着がないの？
S1: [プールに入る]ためのパンツが、、、あのどっちがわかんない
T: OK. Did he find his trunks? I found it! Yes? I found it!
T: Everyone wanted to find.
S2: No (首を横にふりながら)
S3: パンツがないんだよ。
T: Kipper looked for his trunks.
S1: 男の子は水着がズボンだからズボンがやぶれてるってこと？
T: Looked for his trunks... Did he find it? I found it! Yes?
S2: No!
T: He couldn't find them.
S3: (手を上げて) I found it! わかった、着替えてるけどさ、パンツがないんだよ

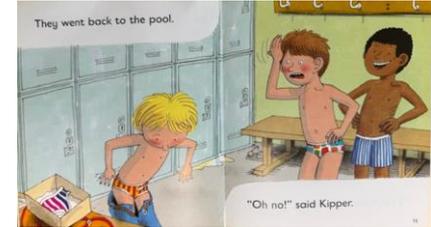
Non-Verbal面と考察

S1:
S2: 二人とも英語より**視覚情報からの推測**

(年齢的に男の子の下着のパンツと水着との区別が難しいようで、パンツが破れていると誤った推測をしている。先生の手助けで trunksが水着を意味しており、それが無いことに気づく。S3は looked for~の意味を推測している。)

S3: 分かって**手を挙げて**発言

結果 Excerpt 2-G3 【1・2年生 2回目】



Transcription

T: ...They went back to the pool. 【息をのんで】
Oh, no.

S1: 【耳を触りながら日本語でつぶやいている】

T: Kipper said, "Oh, no".

S3: (Oh, no.)

S2: Oh, no. 【小さい声で】

T: Why did he say, "Oh, no"?

S1: ((肘をついて右手をあげる))

T: Umm. OK, Sachi.

S1: ((聞き取れない))

T: ん? One more time. It...

S1: せっかく買ってもらったのにあったやんか!

T: Hahaha. OK. Yeah, he said, "On, no". I was wearing. I was wearing. Yes, I was wearing trunks. OK. So, [he said, "Oh, no".]

S1: [笑とるもん]

Non-Verbal面と考察

S1: Hahahaha.
(後ろへ振り返る **ジェスチャー**もある)

S1: Ah, **Oh,no!** 大きな声で手を上に向ける

S2: 右手で**頭を触る**

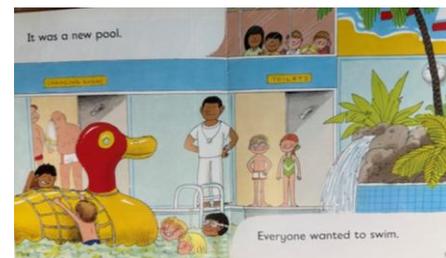
S3: **額を右の手のひらでポンと叩く**しぐさをして先生に見せている

S3: 額を右の手のひらで触るしぐさ

S1: **体も動かしてジェスチャー**をつける

(英語の発話はしていないが、口の動きと手のジェスチャーあり。状況を完全に理解し、身体や感情表現が1回目より豊かになった。)

結果 Excerpt 3-G4 【3・4年生 1回目】



Transcription	Non-Verbal面と考察
<p>T: Wow, this is the swimming pool. Do you think it is new or old? 新しい? 古い? What do you think?</p> <p>S3: 新しいそう</p> <p>S2: 新しい</p> <p>T: New? Why?</p> <p>S3: コスパみたい</p> <p>T: Those playground like <i>Kosupa</i>? Is <i>Kosupa</i> Old? I thought it's new, but it's not that new.</p>	<p>S3: 首をふってからもじもじしている S1: 何も答えない、面白くなさそう</p> <p>S3: 立ち上がって嬉しそうに、コスパに似ているという</p> <p>S2: コスパの話が出た時にうなづく</p> <p>S1: S3を見ている</p> <p>(Personalizeの例。絵本のPoolと自分達の知っているコスパを出すことでより身近なものにしている。嬉しそうに立ち上がって発言をしていたり、面白くなさそうにしていたS1もそのコスパの話をきいてその子の顔を見ている。)</p>

結果 Excerpt 4-G5 【 4 年生 1 回目】



Transcription

T: This pool is new or old?

S1: 何? oldって?

T: old? 古い

S1: あっ New. New, new ! (先生がなにかヒントを見せている)

T: Why? Why you think this pool is new?

S1: これ、こうゆうところ【指さし】

T: This plants? ...are fresh?

S2: New.

S1: これさ、この水をこうやって (S2 に同感を求め【指さししながら】 こうするとかさ

T: I see.

S1: それだけの技術があると思う【身を乗り出して技術を伝えている】

T: It has a technology.

S1: Technology !

Non-Verbal面と考察

(new or old? の先生の質問に対してはoldの意味がわからなく答えられないが、先生が「古い」と教えたらすぐnewと反応し、前かがみになり関心をもってnewと思う絵描写の箇所を指さししている。)

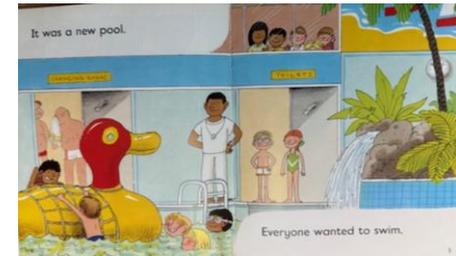
S1: **指さし**をしながら話をしている

S1: **技術というものを伝えたい**

S1 : technologyという**単語を学べて満足**している様子

(自分がいいたい日本語の英語がtechnologyだと分かって嬉しい様子。)

結果 Excerpt 5-G2 【 4 年生 2回目】



Transcription

T: What do you think, is this pool new or old? Does it look clean? Does it look dirty? What do you think?

Ss: Clean.

T: Yeah. So, it was a new pool. Then, they are looking at the pool. How do they feel? Do they feel happy? Sad? Exciting? Excited? What do you think?

Non-Verbal面と考察

三人とも表情も変えず黙っている

Cleanと言うときに自信なさそうだが**全員**で言う。
(2回目であるが、単語としては簡単だと思われる、Newとoldは分かりにくいようだった。しかし、指導者は彼らが知っていると分かっているcleanとdirtyで言い換えてCleanという言葉を引き出した。**単語単体として知っているもリエゾンすると分かりにくい。指導者が学習者の既習事項を知っていると答えを待てたり言い換えたりできるのことが分かる。**)

考察

▶ 学習者の年齢による特徴

音声や絵に注視・思った事を発言（幼児・小学校低学年）

文字を自分で読もうとする・英単語を知る喜び（小学校中学年）

分からない時は沈黙（共通）

▶ 学習者と指導者の日常のインタラクション

・既習状況の把握による効果的なヒントの導き

▶ 学習者同士の共感

・友達の発言へのうなずき

▶ 記憶に基づく意味の同期

・自分のこととして捉えながら共感（笑顔・挙手・ジェスチャー）

まとめ

絵本の読み聞かせ時の読み手と聞き手のやりとり

➤指導者と学習者のやりとりの効果

- ➔推測し自分のことばで発話する
自分の経験・考え・感情と結びつくこと
による記憶への強化



➤学習者同士のやりとりの効果

- ➔感情の共感・意欲向上



ことばの習得にプラスの効果

ことばの習得



やり取り

知覚

記憶

今後の課題

実験計画の精緻化

- ・ インタラクシヨンの指導者から学習者への発問の再検討
- ・ 同じ絵本によるインタラクシヨンの有無の効果の検証
- ・ 繰り返しの効果・検証の精緻化

参考文献

- Bruner, J., & Watson, R. (1983). *Child's talk: Learning to use language*. W.W.Norton & Company.
- Hunt, R., & Brychta, A. (2011). *A cat in the tree* (Oxford Reading Tree). Oxford University Press.
- Hunt, R., & Brychta, A. (2011). *At the pool* (Oxford Reading Tree). Oxford University Press.
- McBride-Chang, C. (2012). Shared-book reading – There is no downside for parents. In S. Suggate & E. Reese (Eds.), *Contemporary debates in childhood education and development*. (pp.51–58). Routledge.
- Piazza, E. A., Hasenfratz, L., Hasson, U., and Lew-Williams, C. (2020). Infant and adult brains are coupled to the dynamics of natural communication. *Psychological Science*, 31(1), 6–17.
<https://doi.org/10.1177/0956797619878698>

参考文献

- 井狩幸男他 (2022). 「インプット処理過程における予測と同期の役割について—自然な英語の定着に向けて—」『LET関西支部研究集録』20, 74–98.
https://doi.org/10.50924/letkansai.20.0_71
- セス, A. (2022) 『なぜ私は私であるのか: 神経科学が解き明かした意識の謎』 青土社
- ベルトレロ, M., & バセット, D. S., (2020) 「神経回路網はどのように知性を生み出すのか」『日経サイエンス』3月号, 52–60. 日経サイエンス社.
- 眞崎克彦他 (2023). 「アウトプットに着目した学習者の発話分析 —入学期と中学年におけるInformation Gap Activityの実践を通して—」『LET関西支部研究集録』21, 75–99. https://doi.org/10.50924/letkansai.21.0_75
- 松本由美 (2015). 「初期英語教育における絵本の有効活用—児童の自発的反応を引出す「読み聞かせ」の試み—」『玉川大学リベラルアーツ学部研究紀要』8, 35–42.
- 萬谷隆一 (2009). 「小学校英語活動での絵本読み聞かせにおける教師の相互交渉スキルに関する事例研究」『北海道教育大学紀要(教育科学編)』60(1), 69–80. <https://doi.org/10.32150/00005806>

Workshop

絵本の読み聞かせ中の**やり取り**は、子どもの言語発達や社会的発達の促進に不可欠な要素であると総合的に判断される。



Workshop

絵本読み聞かせの際の教師の効果的な発話を考えてみましょう。

絵本： The Cat in the Tree

グループで2ページを担当して頂き、指導者の発話を考えて下さい。

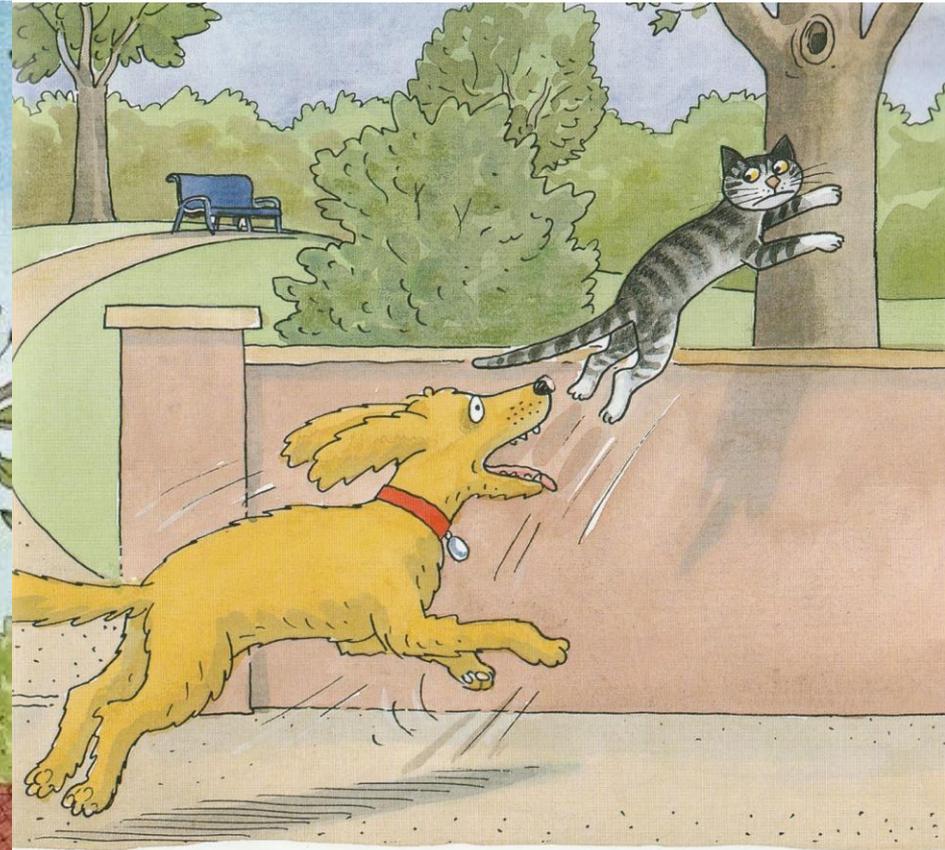
時間： 10分

アイデアシェアリング： 読み聞かせ（1ページ）

A Cat in the Tree



Series created by Roderrick Hunt and Alex Brychta



Floppy barked at a cat. The cat
ran up a tree.



指導者による効果的発話

絵本タイトル: A Cat in the Tree

Page: _____

Page: _____

<u>指導者の発話</u>	<u>予想される子どもの反応</u>	<u>指導者の発話</u>	<u>予想される子どもの反応</u>

Thank you for joining us!

早期英語教育研究部会:

井狩幸男、泉恵美子、板垣静香、櫛本洋子、斉藤倫子
清水香苗、竹田里香、鳥羽素子、星原光江、松延亜紀

